

2013年度 福島支部 活動総括

福島支部のみなさん、全国大会本当にご苦労さまでした。

あまりにも、大きな出来事だった3年前の3.11。
そして、今も続く原発事故の影響とあとしまつ。
だから、全国大会をやりました。

震災後、きょうされんの仲間は、
多くを放って駆けつけてくれ、遠い町から、福島をずっと心配し続けてくれ・・・・。
福島は、ここから「つたえ つなぎ はじめる」。
それ全国大会を通して、私たちはしなくては、とってやりました。

福島支部のみなさんの思いは、
参加してくれた全国の人たちに
これなくとも、福島を思い続けてくれたみなさんに
しっかりと、強く強く届きました。

まだまだ大変な状況のなか、みなさん、本当にご苦労さまでした。

「あたりまえに生きる」
障がいのある仲間とともに震災の前から訴え続け、取り組んできたこと。
今まで以上に、この震災で思い知らされた私たち福島のみんなが
「あたりまえに生きる」ために
全国大会のこの一年を通して思ったこと、感じたこと

- 1 つたえることの大切さを感じました
 - ・職場のなかで、地域にむかって、国や県や自分たちの町に
- 2 つながることの大切さを感じました
 - ・職場が抱える多くの困難の中、職場で、県内の作業所同士が、全国の仲間と
- 3 はじめることを強く感じました
 - ・無くなってしまった仕事を取り戻すために、安心して暮らせる場所や地域をつくるために

決して急ぐ必要はありません。
疲れたら、泣きたくなったら、少し休みも必要です。
しかし、震災からのこの3年を忘れることなく
必要だと思うことに愚直に取り組んでいきたいと思います。

昨年は全国大会以外は、こなすので精一杯だった感があります。
だが、全国大会で得た財産を
新たな年は、ゆっくりじっくり活かしていく年にしていきたいと思います。
「見せましょう。福島の底力を」「見せましょう。作業所の底力を」